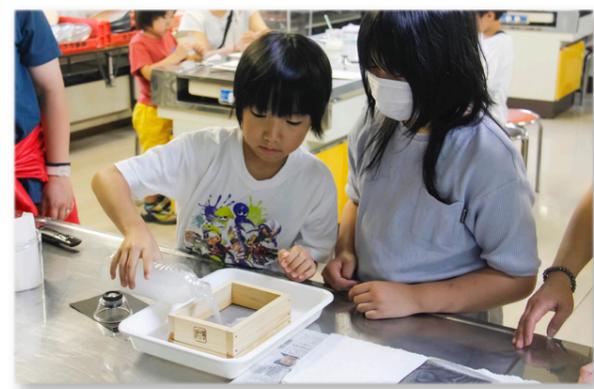




8/16 めだか塾特別講習 奥深い紙の世界

この日、町民センターで雄武町子ども育成会めだか塾で夏休み特別企画「知っていそうで知らない紙のことを学ぼう」が開催され、町内児童と親子連れが参加しました。日本製紙連合会の木村氏を講師に招き、北海道と紙の関りや紙のリサイクルなどについて話しがあり、その後、紙の断面をルーペで観察したり、紙すき体験などを通してリサイクルの仕組みを学びました。



↑紙すき体験をする児童たち

↓講座の様子（学習支援の取り組みについて）



8/20 日本語学習支援者養成講座 in 雄武 やさしい日本語を考えよう

地域交流センターで、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター（HAIECC）が主催する日本語学習支援者養成講座が開催され、町内外から22人が参加。地域における外国人実習生などの現状と外国人が理解しやすい会話や文章を学び、「やさしい日本語」でのコミュニケーションについて、グループワーク形式で実践しました。

↓戦没者追悼式の様子（参列者による献花）



8/25 戦没者追悼式 戦後78年の祈り

この日、雄武町民センターで令和5年度雄武町戦没者追悼式が挙行政され、式典には遺族や来賓が参列。国歌斉唱、黙とうが行われた後、雄武町遺族会会長の館山光司氏から「悲惨な戦争を繰り返さないために、この大戦が残した教訓を次の世代へ伝え続けていきます」と追悼の辞が述べられました。最後に、144人の戦没者の英霊に対して参列者全員で献花を行い、戦没者の冥福と平和を祈りました。

8/24 一日防災教室 災害に備えて災害を知る

防災教育の一環として、町と関係機関の協力により、町内小学校の全児童を対象にした一日防災学校が雄武小学校で開催。地震、津波の発生を想定した避難訓練のほか、学年ごとに分かれた防災講話や体験授業が行われ、防災への関心と理解を深めました。児童は「本当に災害が起きたときに、今日学んだことを思い出して慌てないように気をつけます」と話していました。



↑力を合わせて段ボールベッドを組み立てた児童たち



↑スマホ教室の様子（スマートフォンのカメラの使い方）

8/3 デジタル活用支援事業雄武町スマホ教室 デジ活で豊かな人生を

地域交流センターで「雄武町スマホ教室」が開催され、町民11人が参加しました。この教室は、社会全体のデジタル化が進められる中、誰もがデジタル機器などを活用して、豊かな人生を過ごせる共生社会の実現を目指し、北海道消費者協会が主体となり、町消費者協会の協力を得て開催されたものです。教室では、スマートフォンの基本的な操作方法などを教わり、参加者からは「誰にも相談できなかったことを解決できてよかった」などの声がありました。

8/8 地域消費者問題懇談会 地域の活動を紹介

地域交流センターで、消費者相談の傾向や活動報告を行う地域消費者問題懇談会が行われ、北見市、網走市、美幌町、雄武町の消費者協会員約30人が参加しました。会では、開催地セミナーとして、「雄武カレービーフ」生産者の酪農家3人を講師に招き、グラスフェットビーフの取り組みに関する講話が行われました。懇談会の参加者は「初めて聞く話もあり、参加してよかった」と話していました。



↑懇談会の様子（グラスフェットビーフについて）

8/9 町長とライダーの記念撮影 安全運転で楽しい旅を

この日、「バイクの日（8月19日の語呂合わせ）」にちなみ、栄丘パーキングで交通安全啓発運動が実施されました。この運動は、夏の間の交通量増加を受けて交通ルールを順守してもらうことを目的として行われています。町交通指導員会、町商工会女性部、興部警察署などから約20人が参加し、ライダーなどへ交通安全を守って運転するように呼びかけ、石井町長と町公認キャラクターのいくらすじ子と記念撮影を行いました。



↑ライダーとの記念撮影の様子